

市民の参加と協働を進める 多様なコーディネーション 実践研究集会 2021

越境×対話×共創

コーディネーターが
オンラインで
経験と知見を共有&習得する
“学びのプラットフォーム”

2021.2.23 tue. - 2.28 sun.

Online (Zoom)

6,000円 (一般) 5,500円(二人目割引)
5,000円(JVCA会員)

申込締切 2021.2.5 fri. (先着順)

開催趣旨

日本ボランティアコーディネーター協会は、その前身組織での主催も含めると、1994年以降、毎年度、「全国ボランティアコーディネーター研究集会」を開催してきました。しかし、市民の「参加の力」によって社会課題の解決を図る取り組みは実に様々な場面で進められています。そこで、ボランティアコーディネーターというキーワードを超えた実践交流と協働の進化を進めるため、市民の参加と協働に関わる多方面の関係者と企画委員会を結成し、「市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会」を開催することといたしました。

福祉、医療、保健、多文化共生、環境、教育、災害…など実に多様な場面で参加を進めるコーディネーターが実践しています。こうした幅広いコーディネーターやその活動向上に関わる人々が、それぞれの領域を超えて出会い【越境】、話し合い【対話】、協働して新たな課題解決にむけた方策づくり【共創】を進める“学びのプラットフォーム”を提供するものです。

新型コロナウイルスの感染防止のためオンラインでの開催となりますが、多様な場で活躍する皆さまが幅広い分野からご参加いただくことで、相互の蓄積を生かした新たな課題解決の方策が見えてくるはず。この集会が、まさに「越境者による対話と共創の第一歩」となることを心から願っています。

市民の参加と協働を進めるコーディネーション実践研究集会 企画委員長 早瀬 昇
(社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長)

セッション タイムライン



2/23 Tue

14:00
~16:00
(90分)

オープニング



Zoom
ウェビナー

全体会

セッション

(~2/27 Sat) (2/26 Fri)
(12:00) (19:00)

Zoom

オンデマンド配信



(前夜
交流会
セッション)

2/27

13:00
~13:20
(20分)

13:20
~15:00
(100分)

オリエン
テーション



Zoom
ミーティング

オリエン
テーション

オリエン
テーション

オリエン
テーション

オリエン
テーション

オリエン
テーション

A
分科会

事前に1つ選択



Zoom

ミーティング

A-1
多文化共生×社協

A-2
福祉×環境

A-3
災害×地域

A-4
地域×若者

A-5
社協×生協

対象

- 😊 地域や組織で人や団体のコーディネーションに携わる方
- 😊 市民の参加や協働の場をつくるコーディネーション実践に関わる方
- 😊 異なる分野とつながり、社会課題の解決をめざしたい方

開催概要

日時 2021年2月23日(火祝)14:00～16:00 ※27日(土) 12:00までオンデマンド配信
2月27日(土) 13:00～17:10
2月28日(日) 10:00～14:30

参加費 一般 6,000円、二人目割引*5,500円、JVCA正会員・準会員 5,000円
*同組織の2人目以降の方へ割引があります

方法 オンライン

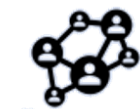
主催 認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会
市民の参加と協働を進めるコーディネーション実践研究集会 企画委員会

Sat

15:30
～17:10
(100分) (17:30)

B 分科会

事前に1つ選択



Zoom
ミーティング



B-1

地域×居場所

B-2

災害×多文化共生

B-3

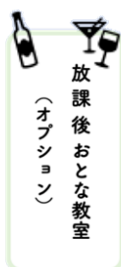
子ども×福祉

B-4

コロナ禍×ボランティア

B-5

コロナ禍×孤立



放課後
おとな教室
(オプション)

2/28 Sun

10:00
～12:00
(120分)

13:30
～14:30
(60分)

C 分科会

事前に1つ選択



Zoom
ミーティング

C-1

[さそう]

C-2

[まぜる]

C-3

[ひきだす]

C-4

[つくる]

C-5

[きめる]

クロージング



Zoom
ミーティング

全体会

オープニングセッション

2.23 Tue 14:00~16:00



私たちが人間らしく暮らすには、あらためて「自助、共助、公助」をどうとらえ、どんな社会を構想していくのかを問い直す必要があるのではないのでしょうか。

この全体会では、多彩な登壇者のクロストークから、人々の主体的な参加による対等な連携・協力を生み出すコーディネーターの価値と可能性を、集会の起点として考え合います。

近年、日本社会に広がった「まずは自助を」という風潮は、孤立と格差を生み出してきました。コロナ禍で見えたのは、普通に暮らすことが孤軍奮闘になってしまう、という私たちの暮らしの“危うさ、だったのではないのでしょうか。



尾上 浩二さん

(おのうえ・こうじ)
認定NPO法人DPI日本会議
副議長

1960年大阪に生まれる。小学校を養護学校、施設で過ごした後、普通中学・高校へ進む。1978年大阪市立大学に入学後、障害者問題のサークル活動をきっかけに、自立生活運動に取り組み始める。1992年秋に制定された大阪府「福祉のまちづくり条例」制定運動を推進、2000年、2020年の国会でバリアフリー法の参考人を務める。DPI(障害者インターナショナル)日本会議事務局長、障害者政策委員会委員等を歴任後、内閣府障害者制度改革担当室・政策企画調査官を務める。現在、内閣府障害者施策アドバイザー。



湯澤 規子さん

(ゆざわ・のりこ)
法政大学人間環境学部教授

1974年大阪府生まれ。筑波大学大学院歴史・人類学研究科単位取得満期退学。博士(文学)。明治大学経営学部専任講師、筑波大学生命環境系准教授を経て、現職。「生きる」をテーマに地理学、歴史学、経済学の視点から、当たり前の日常を問い直すフィールドワークを重ねている。主な著書に『ウソはどこから来て、どこへ行くのか』(ちくま新書)、『7袋のポテトチップス一食食べるを語る、胃袋の戦後史』(晶文社)、『胃袋の近代一食と人びとの日常史』(名古屋大学出版会)、『在来産業と家族の地域史—ライフヒストリーからみた小規模家族経営と結城紬生産』(古今書院)、などがある。



西川 正さん

(にしかわ・ただし)
NPO法人ハンズオン!埼玉
常務理事

学童指導員、出版社などを経て、2005年、ハンズオン埼玉を設立。「おとうさんのヤキイモタイム」キャンペーンや東北福島から埼玉の避難者に向けた月刊誌『福玉便り』の創刊など、協働・市民参加型のまちづくりのプロデュースに関わる。地元では、PTA、民生委員、自治会、学童保育などにかかわり地縁と志縁の間を行き来しつつ、様々な提案と実践を重ねる。大妻女子大学等で非常勤講師。NPO法人あげお学童クラブの会理事、等。日本コミュニティ七輪学会会長。著書に『あそびの生まれる場所「お客様」時代の公共マネジメント』他。



コーディネーター
早瀬 昇さん

(はやせ・のぼる)
社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長

同志社大学政策学部客員教授。1955年、大阪府生まれ。大学で電子工学科を専攻するも、交通遺児家族支援、地下鉄のバリアフリー化などの活動に参加。大学卒業後、フランス、ベルギーの障害者グループホームでケアワーカーを経験後、1978年に大阪ボランティア協会に就職。91年から2010年まで事務局長。2012年~18年6月まで日本NPOセンター代表理事も務める。「市民の参加の力」で社会問題を自治的に解決する環境整備をライフワークとし、現在、日本ファンドレイジング協会の副代表理事なども務める。著書に『「参加の力」で創る共生社会』など。大の阪神タイガースファン。赤ワイン党。

推奨環境

✓ 視聴デバイス

パソコン(推奨)、タブレット、スマートフォン。スピーカー付のもの。

✓ 配信ツール Zoomバージョン5.3.0以上

(古いバージョンではブレイクアウトルームで不具合がでる場合がありますので、最新のバージョンにアップデートすることを推奨します)

✓ その他必要なもの マイク (ヘッドセット推奨)、カメラ (交流や意見交換のため推奨)

✓ インターネット接続

ブロードバンド有線(推奨)、Wi-Fi(推奨)、またはワイヤレス (3Gまたは4G/LTE)

☆ 回線速度を事前にチェック! ビデオ通話有りの場合10Mbpsを推奨します

(参照サイト: <https://fast.com/ja/>)

✓ スムーズな視聴、ご参加のために

*Wi-Fi ルーターと接続している機器をなるべく減らす

*Wi-Fi ルーターを見通しの良い場所に設置し、電波を発する家電等の近くに置かない

* スマホ端末のバックグラウンド起動中のアプリを最小限としましょう

クロージングセッション

2.28 Sun 13:30~14:30



新たな時代を拓くコーディネートの価値

～明日からのコーディネーションのためのふりかえりとわかちあい～

3日間で学び合ったこと、議論したことを総括します！オープニング全体会や各分科会で語られたこと、語り切れなかったことを整理し、明日からのコーディネーションの糧となる時間にしましょう。

申込方法

①お申込

下記ウェブサイトのフォームからお申し込み下さい。

CONF2021[Webページ] <https://jvcc2021tokyo.jimdofree.com/>

- 郵送またはFAXでのお申し込みをご希望の方は、下記事務局までご相談下さい。
- 分科会A, 分科会B, 分科会Cはそれぞれ5セッションのうち1つを選ぶ選択制です。各セッションは先着順となります。それぞれ第1希望/第2希望/参加しないをお選び下さい。
- ***二人目割引** は同組織内の二人目以降に適用され、参加費から500円を割引します。必ず一人目の欄にお申込済みの同組織の方のお名前の記入をお願いいたします。
- 申込締切…2021年2月5日(金) 先着順
※締切日前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早めに！



②参加費のご送金

参加申込み受付け後、ご登録のメールアドレスにメールにて入金手続きのご案内をお送りしますので、参加費等をお振込み下さい。

一般 6,000円、二人目割引*5,500円、JVCA正会員・準会員 5,000円

*同組織の2人目以降の方へ割引があります

- 参加費等の入金をもって、正式な申し込みといたします。
- ご入金後は原則として返金できませんのでご了承下さい。
- 集会までにJVCAに入会されると、会員参加費との差額1,000円をキャッシュバックいたします！

★参加申込に関する個人情報の取り扱いについて★

参加申込でいただいた個人情報は、本研究集会の開催に必要な連絡調整、担当企画委員・講師への告知、今後の本研究集会と日本ボランティアコーディネーター協会の事業のご案内のみの目的で使用します。

- ただし、参加者同士の交流のために、氏名、都道府県、所属団体、参加分科会は「参加者名簿」に掲載し、全参加者・全スタッフに配布します。
- 参加される分科会によっては、本要項に明記されていない場合でも、事前事後アンケートをお願いしたり、事前にメーリングリストが設定されることがあります。

③当日のZoom ID 等のお知らせ

ご登録のメールアドレスにメールにてお知らせいたします

問い合わせ

市民の参加と協働を進めるコーディネーション実践研究集会 企画委員会事務局

WEB : <https://jvcc2021tokyo.jimdofree.com/>

E-mail : confe2021@jvca2001.org Tel : 03-5225-1545 FAX : 03-5225-1563

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2丁目13番地 末よしビル別館30D

- ✓多文化共生に興味のある方
- ✓異なる分野の掛け合わせで地域の課題を解決したい方

定員
36人

A-1 多文化共生（国際交流協会）× 地域福祉（社協） ～変化が加速する僕らの暮らし～

コロナ禍で、外国人留学生や技能実習生等の生活の実態がクローズアップされています。社会福祉協議会と国際交流協会はその支援活動に取り組んでいますが、両者はそれぞれが密接にかかわる領域で実践する組織でありながら、お互いの実態は意外と知らないという声も聞かれます。両者がよりよく知りあうためのちょっとした参加の工夫を、実際の事例を紐解きながら共有していきましょう。異なる領域の融合が生み出す新しい支援の仕組みの必要性が加速しています。

事例発表者 菊池哲佳さん（多文化社会専門職機構、仙台多文化共生センター）
長谷部治さん（神戸市兵庫区社会福祉協議会）

聞き手と進行 三田 響子さん（相模原市社会福祉協議会）

分科会A INPUTセッション

5つの中から1つを選択

2.27 Sat.13:00～15:00

- ✓福祉分野の方
- ✓環境分野の方

- ✓分野のかけあわせによる新たなコミュニティづくりに興味のある方

定員
40人

A-2

福祉×環境

～自然の中で育む、新たなコミュニティのつくり方～

福祉と環境、実は親和性の高い掛け合わせができる分野です。本分科会では、公園や里山をフィールドに、高齢者や障害をもつ方、児童養護施設の子もたちが、自然の中で一緒に作業をすることを通じて新たなコミュニティをつくっていく、そんな事例をご紹介します。環境分野の、荒れた里山に手を入れたい、一緒に活動する人を増やしたい、という想い。福祉分野の、地域の色々な人と交流する場がほしい、のびのび身体を動かせる場がほしい、という想い。分野の垣根を越えて、お互いできることを持ち寄ることで、地域の課題も解決するのではないのでしょうか。

事例発表者 角屋 ゆずさん（一般財団法人世田谷トラストまちづくりコーディネーター）

堀崎 茂 さん（NPO法人 東京里山開拓団 代表）

コーディネーター 鹿住 貴之さん（認定NPO法人JUON NETWORK 理事・事務局長）

矢島 万理さん（公益社団法人国土緑化推進機構 政策企画部）

企画委員 紹介①

加留部 貴行（日本ファシリテーション協会）
熊谷 紀良（東京ボランティア・市民活動センター）
西川 正（ハンズオン！埼玉）
早瀬 昇（大阪ボランティア協会）
明城 徹也（JVOAD）
菊池 哲佳（多文化社会専門職機構）
佐藤 正枝（燕市分水地区地域包括支援センター）
炭谷 昇（日本生活協同組合連合会）
筒井 のり子（龍谷大学）
杉浦 健（共働プラットフォーム）
椋木 美緒（大阪ボランティア協会）
唐木 理恵子（紬ワークス）
三田 響子（相模原市社会福祉協議会）

～本番前から盛り上がり！～

前夜交流会

2.26Fri. 19:00～



19時スタート
事前申込不要
出入り自由
詳しくはWebサイトへ

A-3

- ✓ 災害
- ✓ 地縁組織（自治会やまちづくり協議会）のリーダー
- ✓ 自治体、社会福祉協議会、ボランティアセンターの地域活動担当者

定員
36人

地縁組織 × 災害救援NPO

～災害勃発！そのとき「地元」と「よそもの」は有機的協働を目指せるのか？～

災害勃発！そのとき、私たちは何ができるのでしょうか？被災当事者としてできること。外部支援者としてできること。それぞれの立場からどのように有機的協働を目指していくのでしょうか？実際に被災を体験し避難所運営などにも従事した地元団体の担当者と、外部から被災地に入り多くのボランティアと共に支援活動に従事した災害救援NPOの担当者が、令和元年、長野で起きた「そのとき」を振り返りながら、災害時の自助・共助・公助の方向性について語り合います。

ゲストスピーカー

山崎 博之さん（長野県社会福祉協議会 総務企画部企画グループ主任）

明城 徹也さん（認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク事務局長）

ファシリテーター 杉浦 健さん（共働プラットフォーム）

A-4

- ✓ このテーマに関心がある方

定員
40人

「地域社会」 × 「若者」 = 「明るい未来」 は思考停止？

～多様な人財が集まる地域となるために必要なコーディネーションとは～

地域課題解決のために、若者に関わってもらうための取り組みが全国のいたるところで実践されています。大学のゼミ単位やNPO、自治会、行政が主催するボランティア活動、地域おこし協力隊など、その形は様々です。持続可能な社会を創って行くためには、多様な人達がつながり、参加する場は必須です。しかし、場を作っただけでは、持続性は期待できません。この分科会では、地域住民と若者が持続可能な関係性を構築しながら協働するためのコーディネーションについて考えます。

事例発表者 中井章洋さん（茶舗円通/NPO法人わづか有機栽培茶業研究会・理事長）

植田修さん（和茶園/ほっこりサークル代表/和東町移住呼びかけ人）

開澤裕美さん（中央大学ボランティアセンターコーディネーター）

進行 竹田純子さん（龍谷大学ボランティア・NPO活動センターコーディネーター）

A-5

- ✓ 社協で多様な組織との連携を考えている方
- ✓ 生協で組合員活動や地域との連携を進めている方
- ✓ 生協や社協と連携したい方

定員
36人

生協 × 社協 = 競争？共創？

～連携で地域福祉を進めよう！～

食を中心とした事業を展開し、助け合いがベースとなっている「生活協同組合」は、現在では子育て、高齢者など幅広い福祉活動を展開しています。もともとはメンバーシップの組織ですが、近年は地域づくりに参加を更に進めています。一方、地域での福祉活動は、「社会福祉協議会」が社会福祉法人や市民活動団体などと担って来ましたが、今後ますます多様な組織の協働が必要となってくるでしょう。この分科会では、生協と、社協を中心とした地域福祉組織との越境、対話、共創について考えます。

事例発表者 徳永 雄大さん（長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター主事）

中谷 隆秀さん（長野県生活協同組合連合会 事務局長）

藤井 智生さん（生活協同組合コープこうべ 第2地区本部 マネジャー）

小藪 真彦さん（西宮市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）

コーディネーター

文珠 正也さん（一般社団法人日本協同組合連携機構 主任研究員）

✓このテーマに関心がある方

定員
30人

B-1

「ない」から「創った」地域の居場所 ～そのプロセスで発揮されるコーディネーションのチカラ～

「この地域に〇〇さんが行けるような場があったら…」と気づいて周囲に目を向けてみると、「地域の居場所が広がらない」、「資金がない」、「応援してくれる人がいない」、居場所づくりにかかわる多くの方々が抱える共通の悩みや課題があります。そんな課題を飛び越えて運営される全国の魅力ある居場所は何が違うのでしょうか？できる前、そしてできた後も、その活動のプロセスの中で実践されているコーディネーションのチカラをひもとき、自分自身の実践と重ねることで、実践力をアップします。

ファシリテーター 梅本 政隆さん（大牟田市企画総務部総合政策課 主査）

事例発表者 岩崎 典子さん（marugo-to 代表）

田巻 美和子さん（新潟市西蒲区社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター）

小林 千恵さん（一般社団法人えんがお スタッフ）

岩井 俊宗さん（NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事）

✓地域防災に興味関心のある方

✓外国人支援、多文化共生分野に興味関心のある方

✓地域で外国人住民とのつながりを築こうとしている方

定員
45人

B-2

外国人住民と地域防災

～「日本人」「外国人」の枠をこえて助け合える地域づくりに向けて～

近年、外国人住民・外国人観光客の増加に伴い、災害時の外国人支援が社会的課題として認識されるようになりました。しかし、そもそも「外国人」と言っても一人ひとりのありようは多様で、効果的な支援のためには、その多様な実体を丁寧に見ていく必要があるのではないのでしょうか。そのような観点から、多くの外国人が地域社会に暮らす実態を踏まえ、「外国人」「日本人」の枠を超えてお互いが助け合える地域防災の実現に向けて参加者同士で考えたいと思います。

話題提供者 譚 俊偉さん（総社インターナショナルコミュニティ）

中嶋 エスペルリタ アンさん（宮古市国際交流協会 地域日本語教育コーディネーター）

社会福祉協議会関係者で調整中

✓学校と地域のつながりに興味のある方

✓地域で子どもの育ちのバリエーションを増やすことに興味がある方

✓学校の壁を感じている方

定員
50人

B-3

子どもと地域の育ちを支えるコーディネーションを探る

～教育（学校）と福祉（社協）が交わる場所はどこにある？～

誰もが願う子どもたちの健やかな育ち。その実現に向け、地域では様々な担い手が日々奮闘しています。そして、奮闘すればするほど孤軍奮闘に陥り、異なる分野や専門性、組織との連携・協働を志向するものの、他者の力を借りるといのはそう容易いことではありません。この分科会では、子どもと地域の育ちを下支えした学校と社会福祉協議会におけるコーディネーションのプロセスに着目します。一つの事例を詳しく掘り下げつつ、分野や専門性、組織を超えるコーディネーションの具体的な方策について検討していきたいと思ひます。

事例発表者 新美 勲さん（東海市教育委員会 主任指導主事）

前山 憲一さん（半田市社会福祉協議会 事務局次長）

野尻 紀恵さん（日本福祉大学 社会福祉学部 教授）

進行 土崎 雄祐さん（とちぎ市民協働研究会 専務理事）

B-4

- ✓ 市民の自発的な活動の支援などに関心のある方
- ✓ ボランティアコーディネーター
- ✓ 生協の組合員理事、組合員活動部門の職員

定員
36人

ボランティア活動を止めるな!! ～コロナ禍でどのように参加と協働をすすめるか～

みんなで集まって、わかちあう。つくりだす。そんな集いの場を大切にしてきたボランティア活動が、新型コロナの緊急事態宣言により中止に追い込まれました。新型コロナの収束が見通せない中、いまま手探りの状態が続いています。しかし、厳しい状況下でも、「ピンチをチャンスに」新たなカタチの活動は次々と生まれています。ウィズコロナの状況で参加と協働をすすめていくために、大切なことは何でしょうか？また、どんな力が必要なのでしょう？参加者どうして事例や体験、葛藤などを語り合いつつ、ともに考えてみましょう。

ファシリテーター

小原 宗一さん（北区社会福祉協議会）

分科会B INPUTセッション

5つの中から1つを選択

2.27 Sat.15:30～17:10

B-5

- ✓ 「ひとりにしない」取り組みに関心がある方
- ✓ 「伴走型支援」に関心がある方

定員
36人

孤立や孤独に寄り添うコーディネーションとは？ ～市民の参加で「ひとりにしない」つながりを考える～

コロナ禍で深まる孤立や孤独。人とのつながりは、仕事や家を失うこと、高齢や病気で外出ができなくなることなどで、たやすく切れてしまうこともあります。例えば、ホームレス支援の活動では、家の確保の問題を解決した後に、家の中にひとりであることの孤独や、最期を看取ってくれる人がいないなど、新たな問題が立ちはだかり、支援者にも多様な活動が求められています。人に寄り添い続ける「伴走型の支援」が求められる中、ここに市民はどう関わるのか・関われるのかを、お二人の実践者の活動をヒントに考えていきます。

事例発表者 江田 初穂さん（NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク事務局・認定NPO法人抱樸 総務部長）

宇都 幸子さん（阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 代表）

聞き手と進行 開澤 裕美さん（中央大学 ボランティアセンター）

武藤 祐子さん（千代田区社会福祉協議会）

企画委員 紹介②

疋田 恵子（杉並区社会福祉協議会）
土崎 雄祐（とちぎ市民協働研究会）
鹿住 貴之（JUON（樹恩）NETWORK）
橋詰 勝代（高島市社会福祉協議会）
上田 英司（日本NPOセンター）
竹田 純子（龍谷大学）
長谷部 治（神戸市兵庫区社会福祉協議会）
矢島 万理（国土緑化推進機構）
仙波 愛優佳（和光市社会福祉協議会）
開澤 裕美（中央大学 ボランティアセンター）
野尻 紀恵（日本福祉大学）
武藤 祐子（千代田区社会福祉協議会）
小原 宗一（北区社会福祉協議会）
後藤 麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）

～まだまだ終わりたくない！～

放課後おとな教室

2.27 Sat. 17:30～



17時30分スタート
事前申込不要
出入り自由
詳しくはWebサイトへ

C-1

- ✓ 「誘う」ことに関心のある方
- ✓ 「誘う」ことに課題を感じている方
- ✓ 自分が所属する分野・団体の話を提供し、他分野・他団体の話を学びたい方

[さそう] リクルート大作戦 →入口はこちら→

定員
40人

参加と協働の入口をどのようにデザインしていますか？人々を活動に「誘う」にあたっては、活動の入口である「リクルート」の計画と実践をいかに行うかが重要と考えられます。最近では、SNSなどを用いたリクルート手法に着目されることも多いですが、この分科会では、活動の入口であるリクルートについて、新たなプログラムづくりや活動者の満足度向上などさまざまな視点から実践につながる学び合いをしたいと考えています。

事例発表者 伊藤 文子さん（認定NPO法人プラチナ美容塾 理事長）
河口 秀樹さん（認定NPO法人自然環境復元協会 理事・事務局長）
布施川香保利さん（社会福祉法人豊島区社会福祉事業団特別養護老人ホーム
アトリエ村 ボランティアコーディネーター）

分科会C 対話セッション



5つの中から1つを選択

2.28 Sun.10:00～12:00

C-2

- ✓ コーディネーションに関わっている方
- ✓ 他分野、他機関、他団体との連携を推進している方
- ✓ 様々な人、モノ、ことをまぜることに興味・関心のある方

定員
36人

[まぜる] 「たまたま」を創り出すおもしろさ ～“魅惑のトッピング”にチャレンジしよう！～

「まぜる／ごちゃまぜ」で何が起こるのでしょうか。答えや正解がない時代と言われる中で、これからは分野や機関、団体を超えて共通点を見出し、相違点を尊重し合う関係が必要でないでしょうか。この分科会では、多様な分野のコーディネーター自身が、改めてまざりあう「交流・対話」の時間を持ち、「まぜる」ための手法とその姿勢に注視し、触媒としてのコーディネーションの価値やその向こう側に何をめざすのかを確認していきます。

ファシリテーター 加留部 貴行さん（日本ファシリテーション協会 フェロー）
事例提供者 菊池 哲佳さん（多文化社会専門職機構 事務局長）
佐藤 正枝さん（公益社団法人日本社会福祉士会 地域包括ケア推進委員会委員）
仙波 愛優佳さん（和光市社会福祉協議会）
土崎 雄祐さん（とちぎ市民協働研究会 専務理事）
矢島 万理さん（国土緑化推進機構）

✓このテーマに関心がある方

定員
30人

C-3

[ひきだす] 縁 (エン) パワメント ～チカラは“引き出す”ものなのか?!～

「何かを始めたり、続けたりするにはひとりでは難しい」という考えのもと、エンパワメントについて考える分科会です。人は、行動する中で人と出会い、行動の結果だけではなく、関係性（縁）の中で何かに挑戦する勇気が出たり、やる気をそがれたりの繰り返しです。その気持ちの変化はどのような条件のときに起こるのでしょうか。この分科会では、地域活動の実践を通じて「支援する/される」ではなく、双方が関係性の中から、パワーが湧き出してしまう“縁パワメント”を実践するヒントを探ります。

ファシリテーターおよび講師

西川 正 さん (NPO法人ハンズオン! 埼玉 常務理事)

✓どなたでも

定員
36人

C-4

[つくる]プログラム開発力の向上 ～活かせる秘訣と魔法のシート～ ～“つくる”ことができるを目指して～

前年踏襲の事業ばかりをしていると時代に合わなくなるばかりではなくチームは弱体化し疲弊してしまいます。そもそも社会構造は絶え間なく変化しておりボランティアコーディネーターを取り巻く環境は変化し続けています。そんななか住民の暮らしや市民活動を守り育てるためには必要な新しい何かを作り出す姿勢がいつも必要です。

いつも新しい発想で時代を駆け抜ける講師の事例と手法を企画の視点から学び、自分でも企画をつくるきっかけをつかむ場をこの分科会ではつくります。

講師 小柴 徳明さん (黒部市社会福祉協議会 課長補佐 経営戦略係長)

聞き手と進行 長谷部 治 さん (神戸市兵庫区社会福祉協議会/JVCA理事)

✓団体のまとめ役

✓「決めなきゃいけない立場」に困っている方

定員
40人

C-5

[きめる] 決める? 決めない? みんなで考える「合意形成」

市民活動では、対話を重ねて、みんなで決める合意形成のプロセスが重要です。

ボランティアとの話し合い、スタッフとの話し合い、協力団体との話し合いなど、多様な人たちと対話をかさね、合意形成を図っていきます。しかし、対話による合意形成は、それほど単純で、容易ではありません。

そもそも対話がない合意形成もよくおこっています。対話を必要と感じていない人たちもいます。さらに、コロナウイルスの感染予防のため、集まって議論することができずに、対話が行いにくい状況があります。

この分科会では、参加者の問題意識をもちよって、対話による合意形成についてみんなで考えます。

ファシリテーター

青木 将幸さん (青木将幸ファシリテーション事務所)

協力

公益社団法人日本社会福祉士会
日本生活協同組合連合会
特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)
特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会
一般社団法人多文化社会専門職機構
社会福祉法人大阪ボランティア協会
特定非営利活動法人ハンズオン! 埼玉
東京ボランティア・市民活動センター

後援

社会福祉法人全国社会福祉協議会 社会福祉法人中央共同募金会 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
認定特定非営利活動法人国際協力NGOセンター 公益財団法人日本YMCA同盟 一般財団法人自治体国際化協会
一般財団法人児童健全育成推進財団 一般社団法人環境パートナーシップ会議 ESD活動支援センター
認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会



認定特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

Japan Volunteer COORDINATORS Association

参加の力を信じよう！～市民が主役の豊かで創造的な社会をつくる

市民が主体的に問題解決に取り組む社会を実現するために、一人ひとりの社会参加意識を高め、積極的に行動することを応援する専門スタッフとして「ボランティアコーディネーター」の存在はきわめて重要です。しかし、十分に社会的認知を得ていないことから、多様な分野で活動するボランティアコーディネーターの専門性の向上と社会的認知を進め、専門職としての確立を図ることを目的に、2001年1月に設立(同年8月にNPO法人化)いたしました。

JVCAの事業・活動の5つの柱

- 1 ボランティアの魅力と可能性を伝える
- 2 ボランティアコーディネーションの機能を普及させる
- 3 ボランティアコーディネーターのネットワークの確立
- 4 ボランティアコーディネーターの専門性の向上
- 5 ボランティアコーディネーターの社会的認知の促進

取り組んでいる事業

1 情報の収集と提供活動

- ① ニュースレターの発行
- ② メールマガジンの発信
- ③ ブックレット・書籍の発行
- ④ ホームページ・facebookの運営
- ⑤ 文献・データの情報収集



2 全国研究集会の開催

- ① ボランティアコーディネーターたちが一堂に会する「全国ボランティアコーディネーター研究集会 (JVCC)」の開催



3 検定システムの実施

- ① ボランティアコーディネーション力 1級・2級・3級検定試験・直前研修の実施
- ② 合格者への情報提供
- ③ 1級・2級合格者のつどいへの協力

4 研修・セミナーの開催

- ① ボランティアコーディネーター初任者向け研修の開催
- ② ボランティアコーディネーター実務者向け基礎・応用研修の開催
- ③ 研修講師の派遣

5 調査・研究活動

- ① JVCA会員・検定合格者のニーズ調査の実施
- ② グッドプラクティス事例の収集および認定
- ③ ボランティアコーディネーションに関する実務研修体系についての研究

6 ネットワークの推進

- ① 会員メーリングリストの運営
- ② CoCoサロンの開催支援
- ③ ボランティアコーディネーター基本指針の配布・普及
- ④ 国内外の関係団体との連携、協働

事務局 認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-13 末よしビル別館 30D

TEL03 - 5225 - 1545 FAX03 - 5225 - 1563

E-mail:jvca@jvca2001.org URL:https://www.jvca2001.org/